

6-10

バースデー フォーエバー

感動ある誕生会を目指して

意識改革

個別ケア

特別養護老人ホーム ニューフジホーム

介護員 関根 純一郎

萩尾 弘美、人見真理子、跡部 典嗣

東京都昭島市中神町1260番地

吉野 久子、土田 和子 市川 勝弘

TEL 042-544-5291

E-mail newfuji@douen.jp

FAX 042-546-1729

URL http://d-nfh.jp

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

開設から26年をむかえる施設ですが、最近の施設では忘れかけている行事・レクリエーションに力を入れるなど、温故知新を目指しております。

以前の誕生会は、茶話会という形で誕生者を祝う形式的なものであった

平成18年度より専属の係りができ、内容・在り方を見直し、利用者に喜んでいただける会となるよう取り組んだ

【課題】

- 個々の状況や要望に沿うよう企画をたてる
- 重度の利用者も楽しめるよう工夫する
- 家族も職員も楽しみながら参加し、お祝いできる会を目指す
- 係り以外の職員も関わられるよう調整していく

【具体的な取り組み】

平成18年度

- メイクアップすることでの雰囲気づくり
- ご家族の招待と当日の写真の送付
- 趣味活動(料理・カラオケ・映画鑑賞)を楽しむ
- 職員も楽しめる環境づくり

平成19年度

- 重度の利用者の参加方法の工夫
- 活動の場を広げる(特に外食・外出)
- 平成18年度の活動を継続・向上

【活動の成果と評価】

- 雰囲気作りにより、誕生者でない利用者も楽しみ、他の職員も関心を持つようになった
- ご家族との交流で、利用者の新たな一面を知り、よりよいサービスの提供へ繋げることができた
- ご家族より喜びの声が多数聞かれた
- 職員も共に楽しむことで関心を高め、人員調整、他セクションからの協力もスムーズになり、活動の場を広げることができた(外食・外出)
- 係りの職員が中心となり、それ以外の職員も共に楽しむことで、意欲が向上し毎回工夫を凝らした会を行っている
- 外食(=違う環境で食べたい物を選ぶ)では、「食べる喜び」を感じていただくことで、普段は見られない状況(食欲回復・増進、自己摂取、楽しそうな会話)を見ることができた
- 外出することでの社会性の維持、地域との交流を図れた

【今後の課題】

- よりよい企画と意欲の向上
- 積極的なボランティアの導入検討
- リスクマネジメント